

タウンニュース®

■三浦版／No.123平成23年4月8日(金)号

「昭和の漁師街復活活性化P」始動

4月17日(日)に方向性を語る講演会

事業を進める㈱シーエフ・ビル
マネジメント代表の倉橋隆行氏



同事業は、商店街そのものをテーマパーク化するこ
とで、三崎港にある産直セ
ンターうらりに集中する観
光客を下町商店街や城ヶ島
へと周遊させ、かつてマゴ
口の漁師街として賑わった
昭和の漁師街を復活させる
ことを目的としているもの。
同社は、「三浦市は約70
%が市街化調整区域に指定
され、豊富な自然と建物が
今もなお、昭和のまま残存
している。この街には、潜

市が策定した『下町・城ヶ島地区活性化方策』に基づく公募型の活性化事業
の平成23・24年度に実施する第2事業に『昭和の漁師街復活活性化プロジェクト』
として、商店街のテーマパーク化が内定(本紙既報)。同事業を提案した有限
会社シーエフ・ビルマネジメント(倉橋隆行代表取締役・横浜市/㈱CFネ
ツグループ)が、今月から事業を始動するにあたり、手始めとして4月17日
(日)に市長や県議を招いての同地区の将来について考える講演会を開催する。

市長らと将来について考える

在的観光資源が豊富に残つ
ており、また、昔ながらの
街並みは、映画やドラマの
ロケ地として幅広く利用さ
れる特長を持っている」と
いうことを市の特長・特性
とし、「それらの観光資源
ロケ地としての特性を生か
して、広くプロモーション
を行うことで地域活性化を
行う」としている。

具体的事業は4点

具体的な事業概要として
は、①歴史的昭和の漁師街
と残された自然による映画
等の被写体としての文化を
掘り起こしながら地域を
『昭和の漁師街』としてのテ
ーマパーク化を図る②澤田
痴陶人美術館を出店し、観
光案内所としての機能をも

持たせ地域案内を行う③下
町・城ヶ島の観光ガイドW
EB、プロモーションビデ
オ、観光ガイドマップを民
間の立場で独自制作し無料
公開、無料配布を行う④既
存の古い建造物、テナント
を活用し、『昭和の漁師街』
をコンセプトに新規テナン
ト開発・出店協力・自社出
店等を行う④の4点を挙げ
ている。

以上に関して同社が長年
培ってきた不動産コンサル
ティングにおける土地活用
不動産活用の一環と捉え、
また、ホテル業、飲食業も
運営していることからの総
体的なノウハウを生かした
地域活性化プロジェクトに
なっていると説明し、これ
により観光客の増加、若者
・外国人観光客の増加、週
・月単位の来訪者増加(平
日観光客の増加)、観光客
の回遊性の向上、そして働
く世代の居住者の増加が見
込まれると話している。

つらりで講演会

4月17日(日)にうらり
2階のうみぎょうプレイス
で、同事業の開始にあわせ
た講演会が行なわれる。午
後3時から5時。入場無料。
当日は、吉田英男市長、
木村謙蔵県議と同社倉橋隆
行代表の3者が登場。今後
の同地区の将来像における
地域活性化の方向性がそれ
ぞれから語られる。
詳細は同社ホームページ
<http://www.chiets.co.jp>を
ご覧ください。